



shibokusanpou

一隅を照らそう  
11月号

358号  
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



## 花鳥風月

住職 中島 有淳

毎月「神木山報」を記し、その内容は仏の教えを私なりに提供して居りますが、若い頃の勉強不足と、感性の鈍さが祟つて毎回執筆に苦しんでおります。文章の引き出しの中身が無くなってしまっているのです。引き出しにカギがかかったように開きません。

それは恰もお店の料理人が料理を提供する如く、種々な材料や調味料と腕前でお客さまに喜んで戴くように工夫し、「美味し

かつた」と思つてもらえるように努力をしているのと同様です。

料理人は自分の腕をよりにお客の要望に応じているわけです。  
翻つて当山も、与えられた空間(場所)でしつらえを工夫し、おもてなしを考えます。寺という固定化された空間に、人を招く時、お茶室のような空気や時間といった種々な領域に至る迄、そこに仏の世界を少しでも見い出せられる。そんな理想の空間が演出出来たらと願っています。

仏教は素晴らしい世界です。

仏性は皆、自分の中にあり、それをどのように表現して生活をするかが求められます。空間と自分、一瞬の呼吸の中に仏の教え全部が含まれています。

このことを「神木山報」の活字で表現する事は難解ですが、大切な事は仏の教えを信じる事でしょう。

### 偏った見方

この世のすべてのものは、みな縁によつて現われたものであるから、もともとちがいはない。

ちがいを見るのは、人びとの偏見である。

大空に東西の区別がないのに、人びとは東西の区別をつけ、東だ西だと執着する。

数はもともと、一から無限の数まで、それぞれ完全な数であつて、量には多少の区別はあるけれども、人びとは欲の心からはからつて、多少の区別をつける。

もともと生もなければ滅もないのに、生死の区別を見、また、人間の行為それ自体には善もなければ惡もないのに、善惡の対立を見るのが、人びとの偏見である。

仏はこの偏見を離れて、世の中は空に浮かぶ雲のよう、また幻のようなもので、捨てるも取るもみなむなしいことであると見、心のはからいを離れている

ブッダのおしえ「お経」のことば『華厳經』

### 御礼

今般、信徒総代で當所在住であります井田光政氏より庭にありました立派な「霧島つつじ」や「五月つつじ」、さらに大きな庭石等をご寄贈戴きました。

お陰さまで境内の雰囲気も整い美しくなってきました。厚く御礼申し上げます。

これからも「つつじ寺」として、ご来山の皆さまに喜んで頂けますよう勤めて参ります。

### 合掌

前回の寺の掲示板は  
「雲からも 風からも  
透明な力が  
その こどもに うつれ」  
(宮沢賢治)

でした

この一文にぴったりなのが  
「風草」のように 私は  
思います

そして その 花言葉は  
「未来」 だそうです  
透明なこどもの  
希望の未来です

（遊）

### 行事案内

#### ○星祭供修行 十二月二十二日 (冬至)

来年の運勢が冬至から変わりますので、悪運を転じて吉運となりますようにご祈祷致します。  
申込書をご利用下さい。(締切 十二月八日)

#### ○七五三詣り (随時)

\*お守りをお授け致します。

#### 月例案内

##### ◎毎月八日 午後二時

薬師如来祈禱会 観音經讀誦

##### ◎毎月十二日 午後二時

智泉院法要日 (於・日本橋茅場町)

##### ◎毎月二十八日 午後二時

不動明王護摩供修行

\*毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております  
ご都合のよろしい時には ご一緒にどうぞ



#### 【法華八講】

8人の師による『法華經』8巻の連続講座、いよいよ開幕！

第1講の講師は天台宗より、円融寺ご住職の阿純 章師。  
11月19日 (日) 13時~17時、受講料7,000円。 (副住職まで)

11/11(土) 9:30-10:30  
月例「止観(坐禅)会」  
申込順15名程度・500円



風草(かぜぐさ)

祈りふしのはな